ロータリーへのお誘い

サンプル

ロータリーでは、さまざまな国、文化、職業の人びとが知識とスキル、そして「こころ」を持ちよって、地元の人びとへの支援、青少年の育成、平和推進、人道的支援などに取り組んでいます。
職業人リーダーのネットワークに参加しませんか。詳しくはお近くのロータリークラブにご連絡ください。

1．ロータリーとは

ロータリーは人道的奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的基準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指す。

善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、事業、専門職務、職業および／または地域社会でよい評判を受けており、地域社会および／または世界において奉仕する意欲のある成人によって構成される。

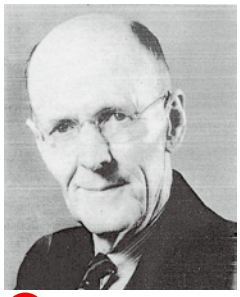
国際ロータリーは、全世界のロータリークラブおよびローターアクトクラブの連合体である。

一言で言えば、ロータリーは利他の心を養い、人を育てるとともに、献身的な奉仕活動を行う世界的な団体である。

2．ロータリーの奉仕理念とは

ロータリーの奉仕理念とは他への思いやりの心、助け合いの心、他人のお役に立つ行いをしようとする心である。

寛容・慈愛・忍耐
（創始者　ポール・ハリスの信条）



ロータリーの創始者
ポール・ハリス氏
（1868～1947）

3．ロータリーに奉仕理念を提唱した人

サンプル

アーサー・F・シェルドンはアメリカ・ミシガン州ヴァーノン生まれで、初期ロータリーの指導的人物だった。190年にシカゴロータリークラブに入会し、ロータリーに奉仕の理念を提唱した人ということであまりにも有名な方である。**He profits most who serves best.** すなわち「**最も奉仕するもの最も多く報いられる**」という奉仕理念を提唱した。

また、**Service Above Self「超我の奉仕」**という人を思い遣り、人のために尽くすというこれら２つの理念がロータリーのモットーとなっている。

アーサー・F・シェルドン
（1868～1935）

4．ロータリーの目的とは

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

第１　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

第２　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとすること；

第３　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

第４　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

「ロータリーの目的」の４つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということで、RI理事会の意見が一致した。

5．ロータリーの歴史

20 世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっていた。ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士“ポール・ハリス”はこの風潮に堪えかね、友人３人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えた。ロータリーとは、集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものである。

こうして 1 905 年 2 月 23 日にシカゴ・ロータリークラブが誕生した。

それからは志を同じくするクラブが、次々各地に生まれ、国境を越えて、今では世界 200 以上の国と地域に広がり、現在、国際ロータリー（RI）は、ローターリークラブとローターアクトクラブの連合体であり、全クラブ数は約 48,200（約 11,200）クラブ、会員総数は約 1,344,400（約 165,600）人に達している。

（注）カッコ内の数値は、ローターアクトクラブを示す。（2023 年 9 月 2 日現在）

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んじる事業および専門職務に携わる人の集まりなのである。その組織が地球の隅々まで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動が求められるようになり、現在は、多くの分野の人々が多方面にわたって多大な貢献をしている。

ロータリーを創設した
ポール・ハリスと３人の仲間

サンプル

6．日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは 1920 年（大正 9）10 月 20 日に創立された東京ロータリークラブで、翌 1921 年 4 月 1 日に世界で 855 番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認された。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ、初代事務総長チェスリー・ペリーと、日本のロータリー創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができない。

日本のロータリーの
創始者　米山梅吉氏

その後、日本のロータリーは、第２次世界大戦の波に洗われ、1940年に国際ロータリーから脱退した。戦後1949年３月になって、再び復帰加盟した。

日本で３人目の国際
ロータリー会長（2012-
13）の田中作次氏
（埼玉・八潮RC）

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚しいものがある。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになった。現在、日本国内の全クラブ数は約 2,506（300）クラブ、全会員数は約 86,700（2,856）人になっている。

（注）カッコ内の数値は、ローターアクトクラブを示す。（2023 年 9 月 2 日現在）

国際ロータリーの会長においては、日本初の東ケ崎潔氏（東京 RC）に続き、向笠次氏（大分・中津 RC）、そして田中作次氏（埼玉・八潮 RC）が就任した。

7. ロータリーの活動

●国際ロータリーの活動

学友の交流会

米山学友会・財団学友会　合同交流会

感染症対策

コロナワクチンの接種

環境対策

17の持続可能な開発目標

水と衛生

VTT事業(インドネシアでの水資源の保と管理)

識字率向上

子どもたちに明るい未来を贈る

青少年交換

青少年のためのさまざまな支援

サンプル

●クラブと地区の活動

友好クラブ

友好クラブ締結（タイ・チェンマイRC）

職業奉仕

キャリア教育　職業講話

社会奉仕

不法投棄物撤去作業など、環境を守る

国際奉仕

水資源と衛生の海外支援

ワールドフーズ･ふれ愛フェスタ（RI2760地区）

新世代フォーラム

若者と思い切り話そう

環　境

海外において、マングローブ植樹活動

8．四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

事業および専門職務に携わるロータリアンの心構えとして、価値ある目標を追い求めるための指針である。さらに、広く一般に、多くの人の倫理的な羅針盤を提供することとして、簡潔かつ的確にまとめたものが［**四つのテスト**］である。

The Four-way test　四つのテスト

1．Is it the truth？　真実かどうか

「嘘偽りがないかどうか」という意味で、商取引において、商品の品質、納期、契約条件などに嘘偽りがないかどうかは、非常に大切な基準である。

2．Is it fair to all concerned？　みんなに公平か

「すべての取引先に対して公正かどうか」ということを意味する。

3．Will it build goodwill and better friendships？　好意と友情を深めるか

その商取引が店の信用を高めると同時に、よりよい人間関係を築き上げて、取引先を増やすかどうかを問うものである。

サンプル

4．Will it be beneficial to all concerned？　みんなのために利益になるかどうか

商取引において適正な利潤を追求することは当然なことであり、決して恥ずべきことではない。ただし、売り手だけが儲かった、また買い手だけが儲かったのでは公正な取引とは言えない。その商取引によって、すべての取引先が適正な利潤を得るかどうかを問うものである。

（RI2680 地区　田中 毅 PDG　ロータリーの源流より抜粋）

人道的奉仕活動の紹介

特別展示「東日本大震災 報道写真展」より

地域の保健所に井戸水が出るように、ポンプや設備を寄贈。
（フィリピン・レイテ島）

宮城県七ヶ浜RCの支援

パプアニューギニアでの活動。毎年、WHOと協力しポリオワクチンの接種活動。

9. ロータリーの主な行事

例　会

定期的に定められた日および会場で、会員が揃って奉仕活動や卓話、親睦を深めるための例会が開かれる。

次年度の計画を検討する協議会

地区研修・協議会

地区大会

年１回、日本国内34地区あるブロックごとに、会員の交流を深めるための地区大会が開かれる。

ガバナー公式訪問

ガバナーが担当地区のクラブを訪問して、活動内容などについての指導をする。

国際大会

2019年ハンブルク国際大会

サンプル

10. 親睦活動

青少年交換（研修生の座禅体験）

会員による相互交流会と親睦会

海外クラブとの交流
（ニューヨークロータリーでの例会参加）

家族をまじえて、家族例会

同好会などの親睦活動

11. ロータリークラブの奉仕部門とクラブ委員会

五大奉仕部門

私たちは、クラブ活動の土台となる５つの奉仕部門を通じて、地域社会や海外での奉仕に力を注いでいる。

- **クラブ奉仕**は、会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うことである。
- **職業奉仕**は、すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てることである。
- **社会奉仕**は、すべてのロータリアンが、地域社会の積極的な平和を目指し、人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することである。
- **国際奉仕**は、国際的なプロジェクトでボランティア活動をしたり、海外のパートナーとの協同活動を通じて、積極的平和と相互理解を推進することである。
- **青少年奉仕**は、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）、ロータリー青少年交換などを通じて、積極的な世界平和、相互理解を深め、青少年ならびに若者がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することである。

サンプル

クラブ委員会

◆会員増強委員会 ……会員増強、会員選考、職業分類、ロータリー情報など
「増」は増員・「強」は強化で、ロータリアンの会員増強が大切。会員増強と退会防止の総合的計画を立案し、増強プラスを実施する。

◆公共イメージ委員会……広報、ＩＴ、雑誌、資料など
ロータリーに関する情報を一般社会に提供し、クラブの奉仕プロジェクトの活動を推進するための計画を立案し、実施する。

◆クラブ管理運営委員会…… プログラム、親睦活動、出席、ニコニコ箱、友好クラブなど
クラブの効果的な管理運営に関する活動を実施する。

◆奉仕プロジェクト委員会…… 職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕、環境保全、インターアクト、ライラ、青少年交換など
地元地域社会、他国の地域社会のニーズを取り上げた人道的、教育的、職業的プロジェクトを開発し、実施する。

◆ロータリー財団・米山奨学会委員会…… 財団（寄付・補助金・奨学金）、米山奨学会（寄付、奨学金）、学友など
財政的寄付およびプログラム参加の両面からロータリー財団・米山奨学会を支援する計画を立案し、実施する。

（上記以外の委員会は、クラブの規模および目標に応じて任命することができる。）

あと少しとなったポリオ根絶！
― ロータリーの最優先課題 ―

現在も野生ポリオウィルスによる感染が続いているのは、アフガニスタン、パキスタンの２カ国のみとなっている。

2021年に報告されたポリオの発症数は、世界で６件となっており、毎日約1,000件の発症が出ていた1980年と比べると、99.9%の減少となっている。

この勢いを保ち、ポリオを完全に根絶しなければ、今後10年間にポリオ発症数が20万件に跳ね上がると専門家は予想している。

また、新型コロナワクチンが世界中で配布されつつある現在、ロータリーと世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）*のパートナーが培ってきた経験と知識が新型コロナへの対応に役立っている。

* **世界ポリオ根絶推進活動（GPEI：Global Polio Eradication Initiative）**
1988年、ロータリーは世界保健機関（WHO）、ユニセフ、米国疾病対策センター（CDC）と推進活動を結成し、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団、Gaviワクチンアライアンスの参加、そして各国政府を含む官民共同の取り組みである。

ロータリー・財団のプログラム

ロータリーは、さまざまなプログラムを通じて次世代のリーダーを育て、よりよい世界を築くためのプロジェクトを支えている。

●インターアクトクラブ
12歳から高校卒業までを対象に、提唱クラブと共に奉仕活動を通しリーダーシップのスキルを身につけ、新しい仲間をつくる。

●ロータリー行動グループ
ロータリーの７つの重点分[illegible]（平和の推進、[illegible]との闘い、安全な水の提供と衛生、[illegible]の[illegible]教育の支援、地域経済の発展、環境の保護）[illegible]おけ[illegible]専門的スキルや知[illegible]を社会や世界のために生かしたいと考えですか。[illegible]ような関心を抱く世界中の人が集ま[illegible]行動して[illegible]

●ロータリー地域社会共同隊（RCC）
ロータリークラブがスポンサーとなり奉仕プロジェクトを通じて世界を変えたいというロータリーのコミットメントを分ちあう、現在、105カ国、12,000以上のRCCが存在し、ロータリアン以外の人たちから成るグループである。

●ロータリー親睦活動グループ
現在、110以上の同じ関心や趣味、職業をもつ世界中の仲間と楽しく交流できる。

●ロータリー友情交換
ロータリアンとその家族および友人が参加し、国際的な新たなつながりと友情を育み、相互受入と訪問を行う機会を提供し、奉仕プロジェクトの基礎となる。

●ロータリー青少年交換
世界100カ国以上で実施されているロータリー青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、15～19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムである。

●新世代交換
30歳までの大学生と若い職業人を対象とした短期の交換プログラムである。
人道的な奉仕活動を通じて参加者のキャリア目標を応援できるよう、カスタマイズされた内容の交換が行われる。

●ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）
14歳以上を対象とし[illegible]、リーダーシップを発揮したい、自[illegible]の可能性を広げたい、世界を変えたい等。プレゼンテーション、アクティビティ、ワークショップなどを含む[illegible]～数日間にわたるイベントである。

●世界平和フェローシップ
平和は「人」から始まると考えるロータリーは、平和フェローシップ（奨学金）を通じて、世界平和と開発の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いている。2002年に創設され、ロータリー平和センターは、1,600人以上のフェローを輩出している。

●奨学金
ロータリー財団とクラブは、大学・大学院レベルの奨学金を通じて、地域や世界で活躍できる未来のリーダーを育てている。他に、日本独自の「ロータリー米山記念奨学会」は日本への留学生に対する奨学金制度があり、留学生の出身国と友好親善の関係を築いている。

●補助金
ロータリーの会員は、それぞれのスキル、専門知識、リソースを生かして、世界のさまざまな問題の解決に取り組んでいる。ロータリー財団の補助金を通じて多くのアイデアが実現している。

サンプル

ロータリーへのお誘い
2023年10月
改訂第14版
編集・発行　情報研究会
案内・申込書　https://www.rotaryinformationgroup.jp
お問合せ：info@rotaryinformationgroup.jp

2023年10月印刷

当「情報研究会」は、この冊子作成とそれに含まれる情報について単独で責任を負います。国際ロータリーおよびいかなる地区、クラブも一切関与しておりません。